

七転八起

もうこれで満足だという時は、

すなわち衰える時である。

(渋沢栄一 新1万円札)

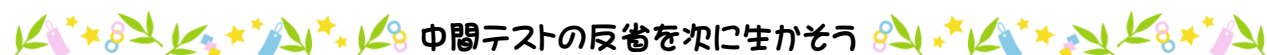
第4号

2019年7月19日発行

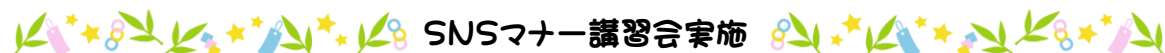


7月に入りました。先月、中間考査を終えたことで、学校生活にも心にも余裕がでてきたような様子が見られます。しかし、この後、気持ちの緩みによって授業中の緊張感が失われないように気をつけましょう。

さて、今月後半からはいよいよ皆さんが待ちわびた夏休みですね。部活動に熱心に取り組む人もいれば、大学進学者講習を受講する人もいることでしょう。約1ヶ月の夏休みをダラダラと過ごしてしまってはもったいないです！夏休みを有意義なものにするためにも、毎日規則正しく生活することを心がけましょう。



先月中旬に実施された中間テストの結果が返却されました。満足のいく結果だった人も、そうでなかった人もいるでしょうが、この結果に一喜一憂して終わらないようにしましょう。今後は各教科の難易度はどんどん上がっていきます。高校の学習の”基盤”となる今回の内容がしっかりと理解できていないと、これからの学習内容をその基盤の上に積み上げていってもガタガタと崩れ落ちてしまいます。間違えたところはしっかり復習し、夏休み明け約1ヶ月後に行われる期末テストでは今回よりも良い結果が出ることを期待しています。



5月31日の総合的な学習の時間に福島警察署生活安全課の金子真実様を講師としてお招きし、SNSのマナー講習会を実施しました。生徒の多くは、高校入試後、合格発表後にスマホを手にしたという人が多いようです。便利なツールではありますが、現代の若者を”スマホネイティブ”なんて表現されることもあり、スマホの操作は生活の一部となっています。スマホのすごいところは、動画で世界中の人と繋がるということです。

しかし、インターネット上に一度アップされた文字や動画は誰かにコピーや撮影（スクリーンショット）されると、訂正や消去は困難になります。また、近年はアルバイトの店員が社員のいない際に店内でさまざまな動画を撮影し、それをネットに上げて、とても大変なことになっているというのは、皆さんも周知の事実ではないでしょうか。

講習会の中で、それらをドラマ仕立てにした再現VTRを見て、やはり怖いと感じた人も多かったです。そして、最後に講師の先生からネット上へアップする前に考える2つのことを教えていただ

きました。

①誰も傷つけていないかをよく考えてからアップする

②それを親に見せても、恥ずかしくないかを考えてからアップする

これを機にもう一度、スマートフォン・SNSの使い方を見直しましょう。

県内では、インターネットを利用して児童ポルノ禁止法違反事件等の被害者となる少年が後を絶ちません。最近では、児童ポルノ禁止法違反の「自撮り被害」が増加傾向にあります。そこで、県警では、インターネット被害防止標語「あとがこわい」を合言葉にして被害防止を訴えているそうです。この機会に是非、覚えておきましょう。

～スマホの約束6か条～スマートフォンを利用して

「あ」会わないで！（知らない人と）

「と」撮らないで！（自分の裸を）

「が」画像を送らないで！

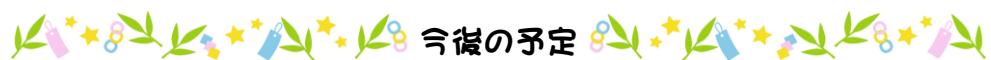
「こ」個人情報を載せないで！

「わ」悪口を書き込まないで！

「い」いじめないで！（ネットを使って）

講演会の様子





今後の予定

日付	予定
7月11日(木)	生徒会役員改選
19日(金)	全校集会①
22日(月)	夏季休業(～8月20日(火)まで)、夏季講習(～7月31日(水)まで)
8月 1日(木)	オープンスクール①(中学生対象)
19日(月)	基礎力診断テスト(1学年登校日)
21日(水)	全校集会②、一斉指導②、登校指導②
23日(金)	ワックスがけ②



保護者の皆様へ

高校入学後、3ヶ月となり、まもなく夏休みを迎えようとしています。欠席の多い生徒や中間考査での成績不振の生徒につきましては、夏休み中に登校し、足りていない分を補っていただくことになります。進学希望者につきましても、夏期講習会を行いますことご承知おきください。また、夏休みに入りますと家庭で過ごす時間が増えます。そこで、下記の点につきまして、ご家庭でもご指導くださいますようお願いいたします。

学習面：日々の家庭学習の継続(7月までの学習の総復習、苦手教科の克服)

生活面：規則正しい生活(早寝・早起きの習慣化、自宅・自室の整理整頓や家事の手伝い)

外出時：行き先、相手の把握。門限の設定、帰宅時間の徹底。

交通ルールの遵守と交通事故・水難事故の防止。

※夏休み明けには頭髪・服装の指導も予定しておりますので、夏休み中に乱すことのないよう厳しくご指導願います。

TKPコラムVol.5

「ブスの25箇条」

学年主任 末松孝治

夢の舞台を創り続けて 100 年余り。時代とともにスターを生み、話題作を手掛けてきた「宝塚歌劇団」は、今や日本の文化の一つといっても過言ではありません。舞台の内容もさることながら、厳しい教育や規則についても話題になることが多くあります。そんな環境だからこそ、長い間素晴らしい舞台を続けてこられたと言えるでしょう。

その「宝塚歌劇団」のモットーは「清く、正しく、美しく」です。これは創設者の小林一三氏が歌やダンス、演劇はもちろん、礼儀やマナーをわきまえ、ひとりの女性として社会人としての品格を失わないようにと贈った言葉だそうです。

これとは別に、もう一つの教えがある時期から歌劇団の人なら誰もが目にする場所に突然、貼り出されました。そこには「ブスの25箇条」が書いてありました。ブスとありますが、どうやら顔のことではないようです。どちらかというと、「人として美しく生きる」ための戒めのような内容です。

ただ、それは誰が、何のために貼ったのか、未だに謎で真相は語られていません。しかも、今は外されているそうです。

～ブスの25箇条～	13.他人をうらむ
1.笑顔がない	14.責任転嫁がうまい
2.お礼を言わない	15.いつも周囲が悪いと思っている
3.おいしいと言わない	16.他人に嫉妬する
4.目が輝いていない	17.他人につくさない
5.精気がない	18.他人を信じない
6.いつも口がへの字をしている	19.謙虚さがなく傲慢（ごうまん）である
7.自信がない	20.人のアドバイスや忠告を受け入れない
8.希望や信念がない	21.何でもないことに傷つく
9.自分がブスであることを知らない	22.悲観的に物事を考える
10.声が小さく、いじけている	23.問題意識を持ってない
11.自分が正しいと信じこんでいる	24.存在自体が周囲を暗くする
12.愚痴をこぼす	25.人生においても、仕事においても、意欲がない

さて、皆さんはいくつ当てはまっていたでしょうか。ハッとした人もいるはずです。今は、たくさん当てはまっていても構いません。大切なのは「これから、1つずつクリアしていこう」と決意し、実践することです。

1日でクリアできる人もいるかもしれませんが、5、10年とかかる人もいるかもしれません。しかし、自分自身の歩幅に合わせて、少しずつでも前進していくことが、結果として、その人の人間力の向上や人間的な魅力に繋がっていくのだと思います。そして、「ブスの25箇条」に1つもあてはまらなくなったとき、本当の日本人としての美しさがにじみ出てくることでしょう。

めざせ、ジャパニーズビューティー！